

会 議 録		令和 5 年 9 月 13 日 作成	令和 9 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府北警察署協議会（令和 5 年度第 2 回）		
開催日	令和 5 年 9 月 12 日（火曜日）		
時 間	午後 3 時 31 分から午後 4 時 46 分までの間（75 分）		
場 所	京都府北警察署		
出席者	石上会長、岡本副会長、作田委員、野中委員、松井委員、小西委員、古荘委員、太田委員、有川委員、糸井委員 （欠席 プレストン副会長） 計 10 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、警備課長、交通指導係長、広聴・相談係長 計 10 人		
諮 問 事 項	1 北区内における交通事故発生状況等について 2 大学生等若年層における大麻等薬物事犯の現状と対策について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 司会 副署長 2 署長挨拶 3 協議 司会 会長 (1) 諮問事項説明 北区内における交通事故発生状況等について～交通指導係長 【委員】今年北区で発生した死亡事故の原因は何だったのか。 【警察】前方不注視ではあるが、それ以上は現在捜査中である。 【委員】スピード超過が原因であるのかと思っていた。 【警察】発生場所付近においては速度取締り等重点的に取締りを実施した。 【委員】発生場所付近は40キロメートル規制であり、先日発生場所付近で取締りをしているのを見た。珍しいなと思っていたら、その後死亡事故があったと聞いた。あの場所は速度を出しやすいため、重点的に取締りをした方がいいと思う。 【委員】前に発生した北区内での死亡事故は、京都産業大学生の事故であったと記憶している。京都府警のホームページを確認したのだが、事故発生のすぐ翌日には白梅町で啓発活動をしたと聞いている。私たちも現場で交通事故抑止の啓発活動をしている。交通安全推進委員や地域		

会 議
内 容

ボランティアとどう連携し、どう活動をしているのか。

【警察】警察の活動だけでは限度があり、行政主体の活動で安全に対する意識を高める、行政と一緒に活動を行い、意識を高めるのが理想である。関係団体とも連携し、交通事故防止の活動を行っていかうと思う。

【委員】自転車のヘルメットについては、まだまだ全然普及していないと感じる。南丹署でヘルメット購入費の補助活動をしていても低調であったと聞いている。ヘルメット着用の意識が低いと思う。ユーチューブなどを活用した啓発も有効と感じている。ヘルメット普及への取組やこれからの施策についてはどうか。

【警察】現在ヘルメット着用は努力義務であり、普及に際して難しいところもある。しかし、自転車利用者に訴えていく必要がある。そのためには取締りに併せてチラシを配ったり、自転車の防犯指導の際に訴えていくなどして着用率向上に努めていきたい。

【委員】私の出身地では自転車検定があり、筆記試験や実技試験などがある。これに合格すれば運転免許証とヘルメットをもらえる。これがないと自転車乗車にいろいろな制約があり、いろいろな注意啓発活動も行っている。対象の人が多い京都で同様に行うのは難しいと思うが、筆記試験だけでも行って意識を高めればと思う。

【警察】自転車安全教育をいろいろな方法で行い、自転車用の運転免許証を交付するなど、そういうところにも力を入れている。

【委員】小学校4年生に自転車教室を行ってもらっており、その時に運転免許証はもらえるが、ヘルメットはもらえない。説明のあった電動キックボードについては韓国では規制を厳しくしていると聞いている。先日、実物をよく見て、スマホで登録し、利用すれば後に課金されるが、その場ですぐ乗れることがそのとき初めて分かった。

【委員】ヘルメットについては、近くの商業施設で「ヘルメットをかぶろう」というチラシをもらった。皆さんに少しでも知ってもらうための活動は大事である。私も素敵な帽子型のヘルメットを買ってもらった。おしゃれじゃないものが多いが、おしゃれなものを準備してもらえれば、かぶろうと思う人も増えるのではないか。また、ヘルメットをかぶると髪が乱れることや、かぶって行った先でヘルメットの置き場がないなどの問題もある。皆さんに普及する方法を考えてほしい。

(2) 諮問事項説明

大学生等若年層における大麻等薬物事犯の現状と対策について

～刑事課長

【委員】少年の大麻使用が増えており、売る方の少年の話を聞いたことがあるが、タバコと同じくらいの感覚で意識が低い。覚醒剤とは違うとい

会 議
内 容

う意識はあるが、大麻ならいつでもやめられると思っている。先輩や友人との関係性の中で吸い始めるのが多い。大麻には害がないとか、合法的な国もあるのだから問題ないという考えもあり、説得は難しい。しかし、「日本では法律で認められていない」ことを啓発するしかないと思う。犯罪者はリスクの少ないところを狙う。大麻は敷居が低いと考えられているが、実はリスクが高いという啓発をした方がいいのではないかと思っている。覚醒剤を使用するまでいかに、啓発をすればいいと思う。

【委員】今度、学区の集まりで薬物乱用防止の啓発活動をしようと思っている。こういうことは小さい内から行った方がいいと思っている。草の根からの啓発をしていきたい。

【委員】先日、警察の方に学生 300人に対して啓発活動を行っていただいた。SNSに引っかけられないようにというチラシもいただいた。他の大学や高校にも警察から同様の啓発活動に行っているのか。

【警察】啓発活動実施の申し入れはさせてもらっているが、授業の絡みなどでなかなか難しい。署よりも府警本部の方が教養に力を入れている。こちらから出向いて啓発活動を行っているが、できれば学校の方から声を掛けていただいた方が行いやすい。

【委員】敷居が低いという話があったが、昔は薬物というとシンナーがはやっていた。最近は大麻となり、時代が変わったと思う。中学生でも横のつながりがあり、大麻は入りやすく抜けにくいという感じがする。

【委員】テレビで覚醒剤はグラムいくらとか聞くが、大麻は簡単に手に入れやすい金額なのか。

【警察】大麻と行っても、乾燥大麻、大麻樹脂、リキッドなどがあり、覚醒剤と比べると安価であるとは聞いている。しかし、一度吸えば引き込まれ、やめられなくなる。

【警察】いろいろな大麻の他にもひどい症状が出る危険ドラッグなども出回っている。これら薬物の売上げは、不法な者に流れることになる。そういう点からもやめさせていきたい。

【委員】私は近隣の者からいろいろな相談を受けるが、以前、近くに住む薬物常習者が叫んでいると相談を受けたことがある。薬物常習者が幻覚を見て叫ぶようなことがあるのか。また、そのような相談を受けた場合は、どこに相談したらいいのか。

【警察】警察に連絡いただければ、大声を出していたらやめるように注意することはできるが、以前、大声を出していたということでは対応が難しい。大声を出している状況があれば、110番通報をしてもらえれば現場対応をする。

会 議
内 容

【委員】 これからも何かあれば協力をお願いしたい。

【警察】 薬物の後遺症で、人間として壊れてしまった人もいる。現象面があれば対応する。

【委員】 保護司をしており、薬物関係の者を3人担当したことがある。面接をしたがおかしなことを言ったり、あり得ないと思うことを普通に言う人もいた。結局1人は再犯となった。特別な指導をしても立ち直れない。難しいと思った。

4 事務連絡

令和5年度第3回北警察署協議会は、令和5年12月に実施予定である。

以上

第2回京都府北警察署協議会の開催状況

